

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	阿倍野
学 校 名	晴明丘南小学校
学校長名	堀尾 浩行

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・晴明丘南小学校では、第6学年 65名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

学校教育目標を「豊かな心とたくましく生き抜く力をもった子どもの育成」とし、「子ども一人ひとりの学びの保障」のため、ICT機器や一人一台端末を用いながら多様な学びを展開している。結果としては、国語科、算数科、理科において、全国平均を上回った。また、無解答率も、3教科ともたいへん低く、児童の挑戦意欲が非常に高いことが伺える。昨年の結果と比較すると、全国との差は小さくなっているが、3教科とも中央値は全国より高く、標準偏差も小さくなっている。そして四分位層の割合から、全体的なボトムアップが図られ、成績上位層の増加傾向が強まっているといえる。

児童質問紙からは、「学校へ行くのは楽しい」「自分には良いところがある」「将来の夢を持っている」と肯定的に答える児童の割合は全国より高くなっている。ICT機器の授業での活用については、課題も見られ、今後の活用を進めていきたいと考えている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕言葉の特徴や使い方・情報の扱い方・言語文化に関する事項などの基本的な知識については、児童が多く、「話すこと・聞くこと」・「書くこと」・「読むこと」についても全国平均を大きく上回った。これは、読書に親しんでいる児童が多く、様々な資料を使って自ら調べて考える学びに多く取り組んできたこととつながっていると考える。

〔算数〕どの領域についても、全国平均を10ポイント以上上回っている。無答率も低く、全体的に学習内容を理解し、活用力も身につけているといえる。算数が「好きだ」という児童は6割強だが、「わかる」という児童は9割弱となっている。それに伴い、「生活のなかで活用している」「あきらめずに考える」という児童も9割前後となっている。その中で図形に関する問題に少し課題がみられる。また、正答率が4割以下の児童が数名おり、その児童達の学力の引き上げ、定着に尽力する必要がある。

〔理科〕電気や磁力等に関わる「エネルギー」の分野で全国・大阪市の平均を下回った。しかし、「粒子」や「地球」の分野で10ポイント以上上回り、全体として、全国平均を上回った。理科の学習に関する児童アンケートからは、「観察・実験」をよく行い、予想を立てて学習を進めるなど、理科の学び方は身につけてきていると考えられるので、学んだことの定着を図る工夫が必要だと考える。

質問調査より

本校は、校長経営戦略予算を活用するなどして、社会の様々な学習材を生かして体験的な学習に取り組み、主体的に課題を見付け、協働して課題解決の方法を考えるという学習を大切にしてきた。その中で、主体性や自己有用感、社会貢献の気持ちを育むことを目指してきた。今年度の結果を見ると、「話し合う活動を通じて考えを深めたり新たな考えに気づいたりできる」という児童がほとんどで、「将来の夢」「自尊感情」や「社会貢献の気持ち」について肯定的な回答をしている児童の割合が全国や大阪市平均に比べ、高くなっていることにもつながっていると考えられる。そして、「学校へ行くのは楽しい」の問いには、9割弱の児童が肯定的に回答しており、大阪市や全国を上回っていた。しかし、楽しくない児童も数名おり、思いを丁寧に聞きながら、寄り添っていきたい。

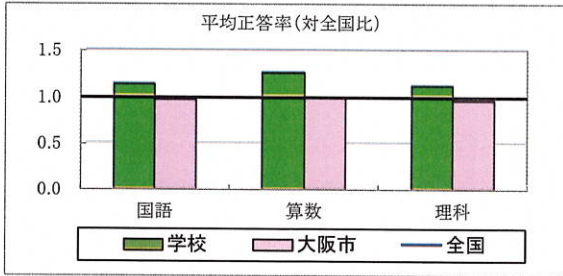
今後の取組(アクションプラン)

主体的な学習態度や仲間と協働して問題解決に当たり、社会に関心をもって自ら働きかける力は、今後ますます重要になってくる。今まで地域や保護者の協力を得て進めてきた本校の体験的な学習については、さらに継続していくことで、児童に「総合的に学習する力」や「たくましくしなやかに生きる力」を育成していきたい。学習面に関しても、学力格差を広げないために、ICTを活用した個別最適化の学びをさらに進めながら、生きて働く活用力のある知識を身に付けられるように、専科制の実施や個別支援の充実を図りながら授業改善を進めていきたい。また、インターネットやSNSだけでなく、本や新聞も活用して、様々な角度から情報を得て、それらを生かすために、新聞を使った教育・情報発信も進めていきたい。そして、本校の教育目標である「豊かな心とたくましく生き抜く力」をつけるために、友達の意見をしっかりと聞き、自分の考えを文章で表したり、話し合い活動で友達の意見を尊重したり、「相手意識」をもちながら意見を発表したりすることを大切にしていきたい。さらに、児童会活動での「たてわり班」活動の活性化を図り、全校児童相互の温かいつながりを深め、社会性や道徳心、思いやりの気持ちの育成を図るとともに、場に応じた豊かなコミュニケーションができる能力も育成していきたい。

【 全体の概要 】

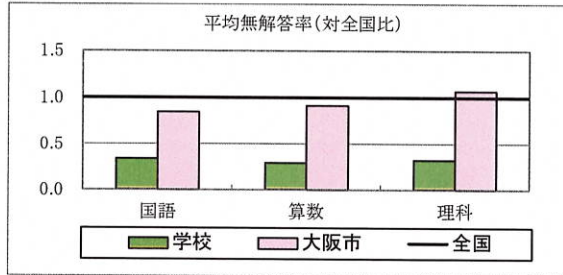
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	76	73	64
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.1	1.0	0.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



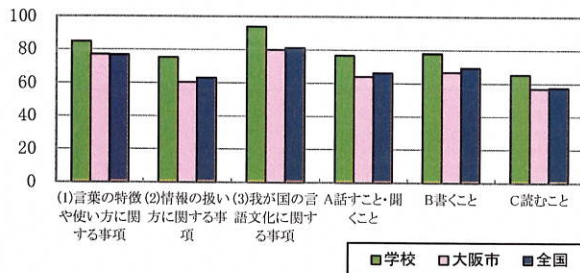
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	84.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	75.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	93.8	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	76.9	64.0	66.3
B 書くこと	3	77.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	65.4	56.9	57.5

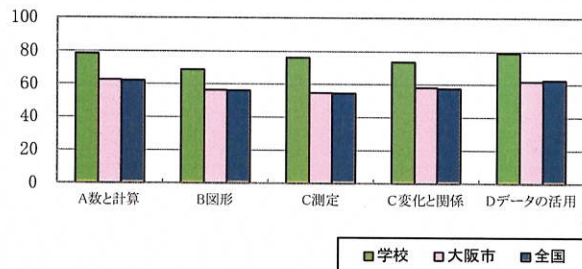
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	78.5	62.7	62.3
B 図形	4	68.8	56.4	56.2
C 測定	2	76.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	73.8	58.2	57.5
D データの活用	5	79.1	61.9	62.6

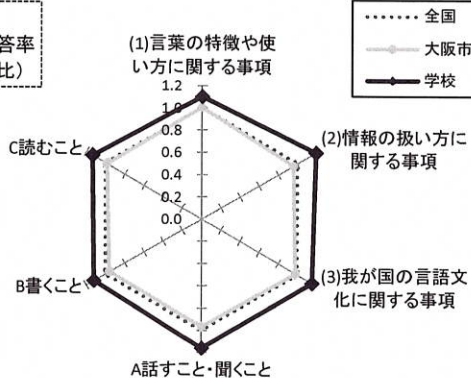
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



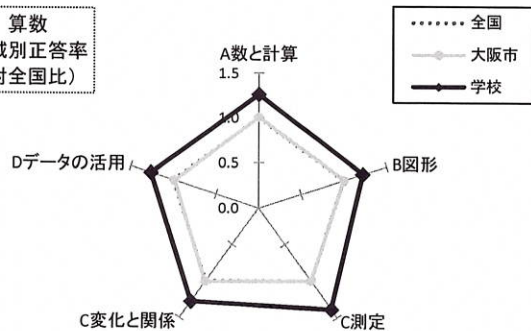
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

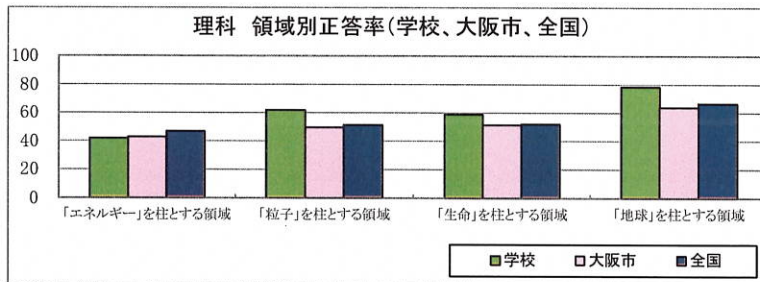


算数
領域別正答率
(対全国比)

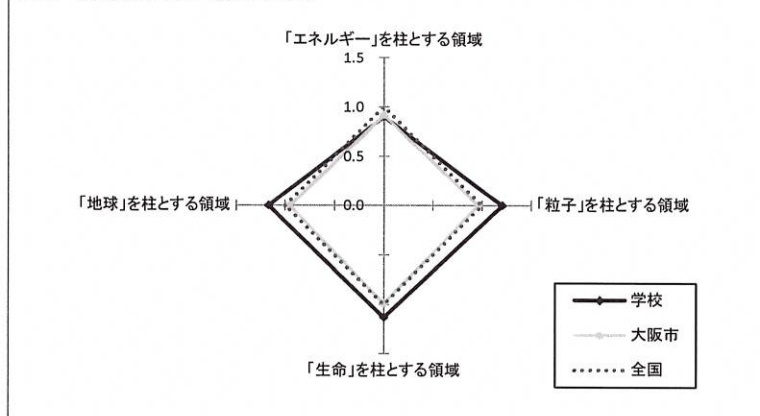


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	41.9	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	61.8	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	58.8	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	78.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



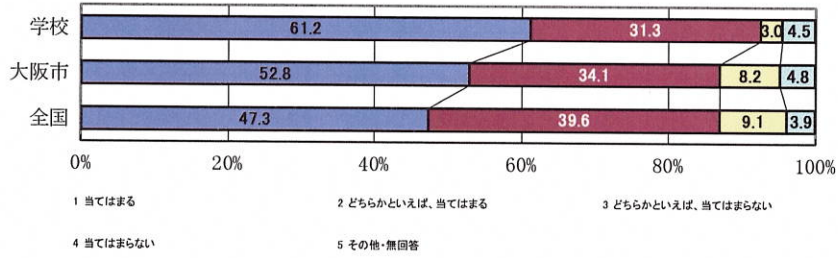
児童質問より

質問番号
質問事項

5

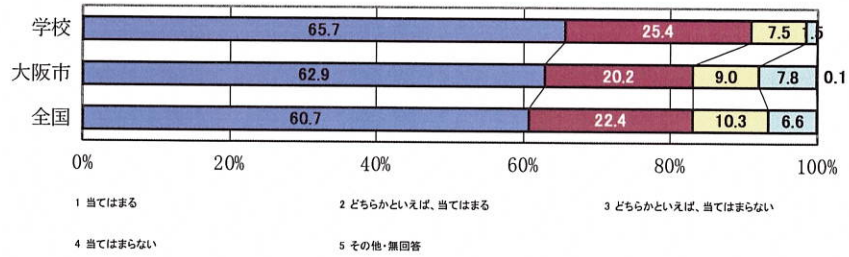
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



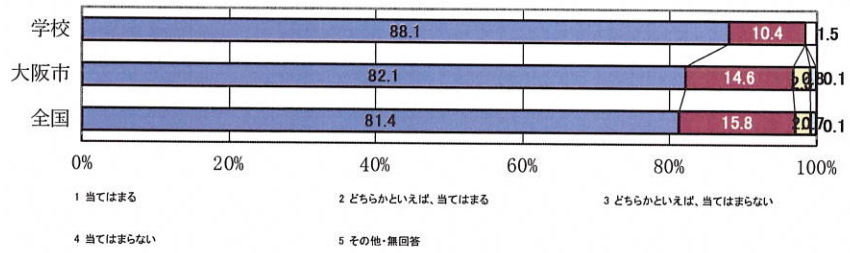
7

将来の夢や目標を持っていますか



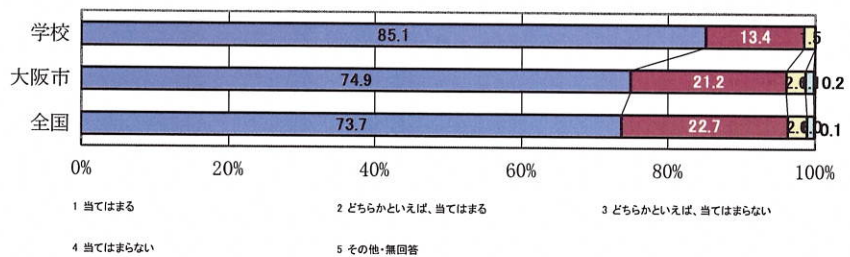
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



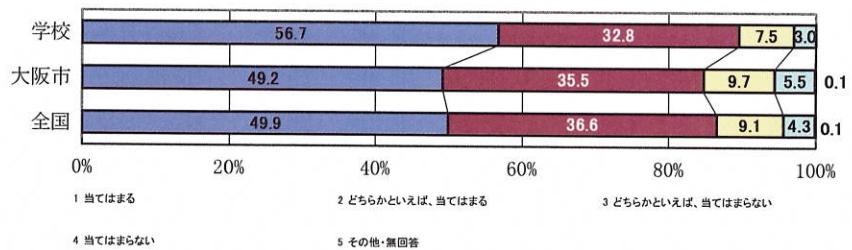
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思えますか

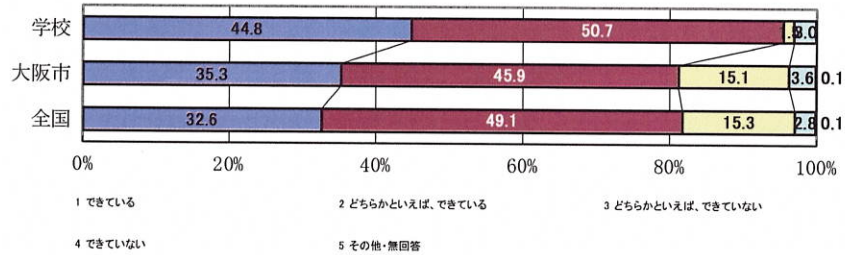
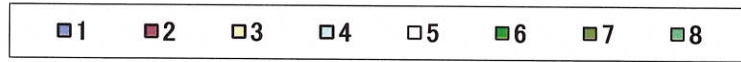


児童質問より

質問番号
質問事項

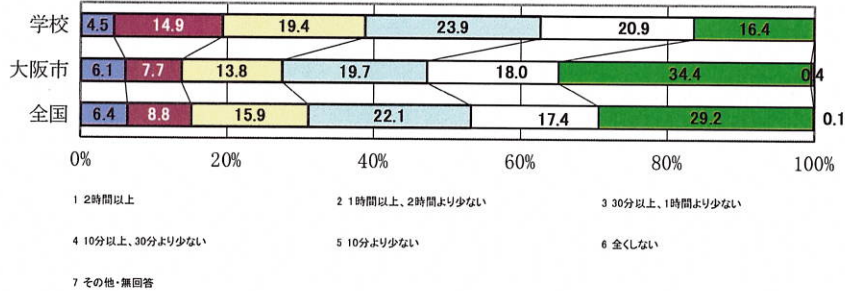
16

分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



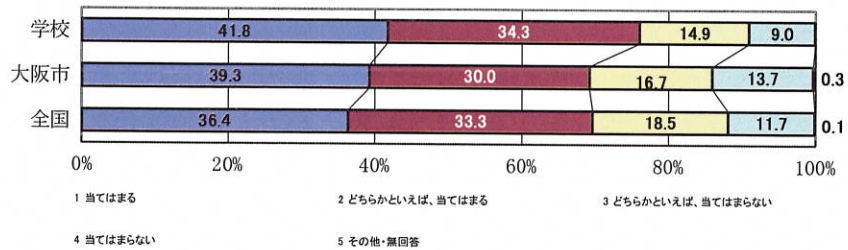
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



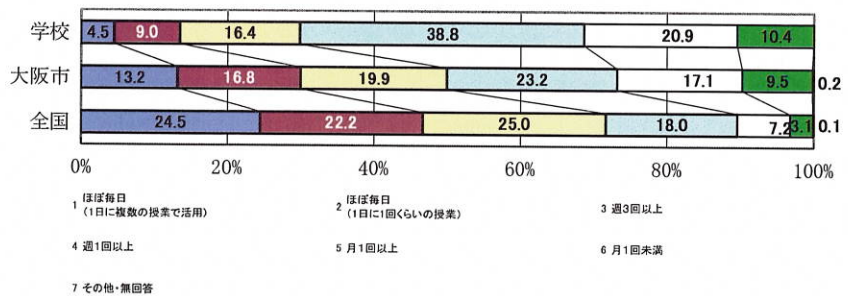
24

読書は好きですか



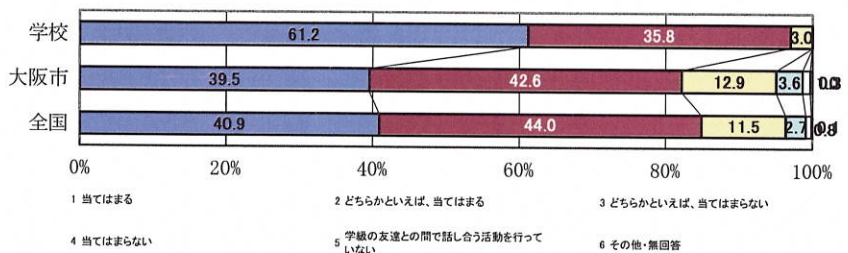
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



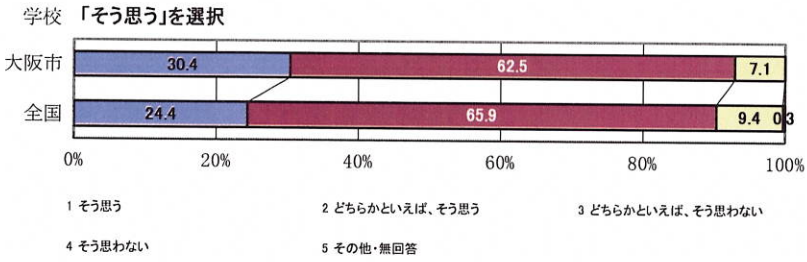
学校質問より



質問番号
質問事項

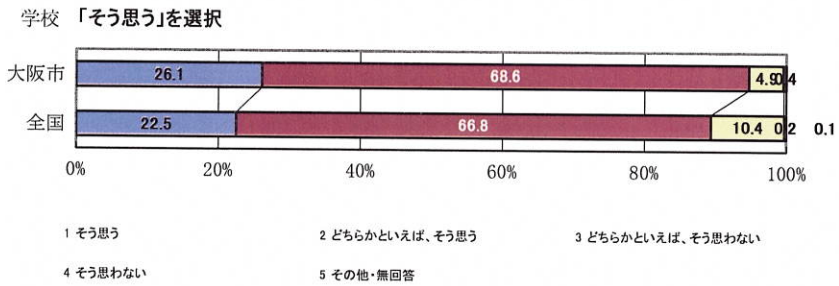
7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか



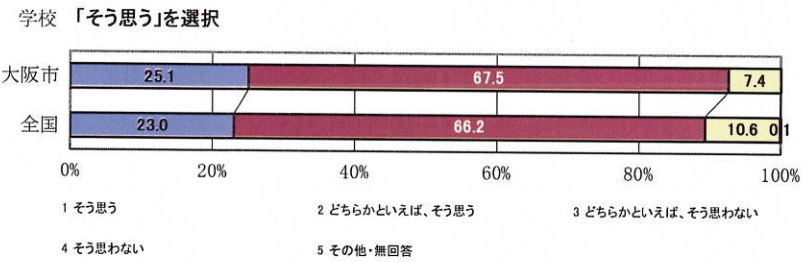
25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



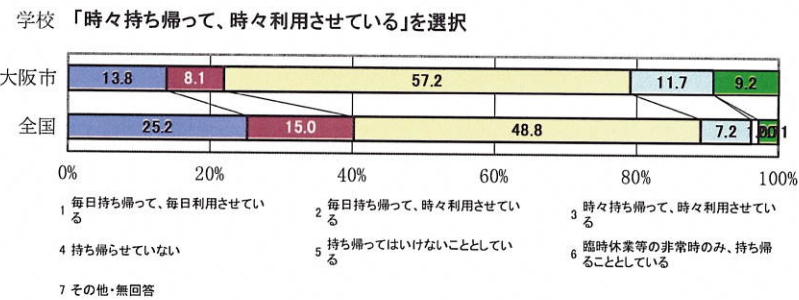
27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



81

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

